

まちのわだい

九州横断自動車道延岡線の 早期完成に向けて

8月7日、町文化会館で九州横断自動車道延岡線建設促進地方大会が開催されました。

これは、延岡線の早期完成とそれに必要な財源確保を目標として行われたもので、熊本・宮崎両県から行政や各種団体、地元住民等約500人が参加しました。

開会に先立ち、宮崎県県土整備部の渡辺学高速道対策局長が、延岡線の概要と完成後の様々な効果について説明しました。

次に、主催者として蒲島熊本県知事が「高速道路は地域の活性化はもとより、救急医療や災害時の緊急輸送道路としてライフライン的な役割を果たし、欠くことのできないものです。延岡線は、今後とも国の責任のもと必要な財源を確保し、確実に整備を進めなければなりません」とあいさつしました。

次に、住永町長が開催地アピールとして「延岡線の早期実現とその財源を維持するという、私も地方の声を訴えるこの大会は大変意義深いものです。この大会の熱意こそ

が、九州における活力ある地域社会実現になると確信しています」と述べました。

また、両県から意見発表があり、宮崎県から「五ヶ瀬瀨道づくり女性の会」小笠まゆみ会長が、妻として母として山間部の生活観点から、熊本県から地元の住永金司商工会会長が、延岡線の建設促進民間協議会の役員として、また運送業経営者の視点から高速道路の建設と必要性を強く訴えました。

最後に宮崎県の河野俊嗣副知事が大会決議を読み上げ、全員で声高らかにガンパロウ三唱をしました。



早期完成に向け全員でガンパロウ三唱を！

四半的弓道で初優勝

まつもととしろう
松本俊郎さん（安永2町内）

7月6日、球磨郡湯前町で開催された平成20年度第17回県連四半的弓道大会で、松本俊郎さんが見事初優勝を飾り、30日、町長室を表敬訪問し、優勝の喜びを報告しました。

四半的弓道は、400年以上の歴史を持ち、四間半(8m 20cm)の距離から、四寸五分(13.5cm)の的を狙い、いかに中心に当てるかを競う弓道で、技術はもとより集中力がとても大切な競技です。

松本さんは、昨年9月に四半的弓道を始められ、週2回の練習で、わずか10カ月での快挙を成し遂げられました。「今後も技術と精神力を磨き、今年中には



初優勝した松本さん(中央)と宮崎鉄男町会長(左)

もう一度優勝を目指したい」と笑顔で話されました。おめでとうございます。

水鉄砲で楽しく交流

第四保育所園児と木山老人クラブ交流会

8月6日、町立第四保育所(田端なお子所長)で、木山老人クラブ睦み会(梅田隆義会長)との交流会があり、竹の水鉄砲を園児と一緒に作り、楽しく水遊びをしました。これは、同老人クラブが、暑い夏に園児たちが水に親しみながら涼しさを感じ、楽しいひとときを過ごしてもらおうと毎年行われているものです。

この日は、同老人クラブの指導で、前日、山から切ってきた竹をノコギリで切ったり、キリで穴を開けたりして一人一本の水鉄砲が完成。さっそく園庭に用意されたプールで、優しいおじいちゃん、おばあちゃんから水鉄砲の手ほどきを受けました。勢いよく飛出す水にあちらこちらから歓声が上がリ、冷たい水しぶきと笑顔が飛び交う楽しいひとときとなりました。



水しぶきと笑顔、歓声が飛び交いました